



消防かわる版

頼もしい空飛ぶ消防士

愛知県防災航空隊と
防災ヘリコプター「わかしゃち」

さまざまな災害現場で活躍する愛知県防災航空隊と防災ヘリコプター「わかしゃち」についてご紹介します。



愛知県防災航空隊は阪神・淡路大震災を教訓に発足し、県民の尊い生命と財産を守るため、平成8年10月に運航を開始しました。全国に消防防災ヘリコプターが72機配備されている中、愛知県防災航空隊では、全国でも数少ない24時間運行体制を整

えています。

「わかしゃち」は、県内の各消防本部の要請で出動し、消火の難しい山林や大きな工場などの火災現場での空中散水をはじめ、積載カメラを使って災害現場の映像を送信するなど、特性を生かし活躍しています。また、負傷者や急病人を医療機関へ搬送する救急ヘリの役割も果たすなど、その活動は多岐に渡り、県民の安心・安全を守るのに無くてはならない存在です。

日夜、特殊な任務を遂行する防災航空隊には、県下の消防本部から職

わかしゃちデータファイル

- ◎定員 15名
- ◎巡航速度 時速243km
- ◎航続距離 783km
※名古屋～函館間ほど
- ◎田原市への出動時間
配備場所(県営名古屋空港内)を離陸してから約25分



たはらAEDマップ

員が派遣されています(操縦士・整備士などを除く)。田原市からも、平成17～19年度までの3年間、消防士を派遣し、空飛ぶ消防士として多くの現場で活動しました。

陸上消防隊と防災航空隊との消防活動は、常にお互いが連携して行う必要があるため、田原市では防災ヘリコプターとの連携訓練を年に数回行っています。実施の際には、広報たはらや公共施設へのポスター掲示などで呼びかけていますので、ご理解とご協力をお願いします。

エーディ
AED(自動体外式除細動器)は、突然倒れた方の心臓に電気ショックを与え、蘇生させるための医療機器で、市民の方でも使用できます。

市内公共施設63か所の設置場所を記した「たはらAEDマップ」を市消防本部ホームページに掲載しましたので、ぜひご利用ください。

http://www.city.tahara.aichi.jp/section/syoubou/



▲中央図書館に設置されているAED

育む未来の消防力

今年も市内の中学生が職場体験で、消防署の仕事について5日間の実習を行いました。「気をつけ」や「敬礼」など基本動作の訓練をはじめ、煙体験・救助訓練・放水体験・はしご車体験などを体験しました。

中学生の皆さんにとって、この5日間の職場体験は、とても大変そうな様子でしたが、仕事のやりがいや住民を守るという使命を感じ、人命の大切さについて考える、いい機会になったのではないのでしょうか。

職場体験に訪れた皆さんの中から、「未来の消防士」が誕生することを期待しています。



▲放水体験



▼はしご車試乗